

もっといい明日が見えてくる - Letters from Gnable

vol.26 Digest 版 特別号

Gnable

グノレット

G-let

vol.26.5

2022年1月発行

東大・医学部合格
特集号

特別
掲載

卒業生の保護者
座談会



● vol.26 フルバージョンは、Webにて公開中。
こちらからお読みいただけます。

 **Gnable** GROUP

保護者座談会 2021

2021年保護者座談会は、『東大合格特集号』(Gno-let vol.26)にご登場いただいたグノーブル15期生、川上 健さん(東大理I・海城)、笹田 陽太さん(東大理I・開成)、竹内 邦彰さん(東大文II・駒場東邦)のお母さま方にお集りいただきました。

15期生の皆さんは、世界中が初めて直面したコロナ禍の中で受験生活を迎え、学校が休校になっても勉強しなければならず、勉強しなければいけないのに勉強が手につかず、たくさんの焦りや不安と闘い続けながらこの一年を過ごされたことでしょう。そんな姿を一番近くで見守った保護者の皆さまは、子どもたちとどのように接してこられたのか。また、グノーブルをどのように見ていらしたのか。貴重なお話を伺いました。(取材・文 吉村高廣)

グノーブルを選んだ理由

川上: 長女が先にグノーブルでお世話になって第一志望に合格できたこともあり、私自身はグノーブルには絶対的な信頼を置いていました。息子は総合的には成績は良かったのですが、英語だけは今一つ伸び悩んでいたため、娘と一緒に、「グノなら絶対に英語を伸ばせるから!」と強く勧め、息子は高1の夏期講習からお世話になりました。

グノーブルへの入塾は大正解でした。言語としての楽しさを教えていただいたことで、英語が一番好きな教科になりました。

笹田: 中1の時にはあえて塾を勧めようとはせず、どこまで自分ひとりで勉強できるかをただ見守っていました。結果、英語についてだけは伸び悩んでいたのが、中2からグノーブルでお世話になりました。中1の終わり頃に、どこの塾の英語が良さそうかを息子自身に探すよう促したら、本人が選んできたのがグノーブルでした。

塾選びについては私なりに考えがありました。英語は大学受験で終わ

りではありません。さきさきのことを考えれば、早いうちから「使える英語」の土台づくりをしておいたほうが良いと思っていたので、息子がグノーブルを選んだ時には私の思いが伝わっていたのかしらと思いました。

竹内: 高2になってグノーブルを選んだのは息子本人です。息子が中学受験を終えた直後に、駒東の先輩のお母さまからグノーブルの話聞き、私は「塾に通わせるならグノーブルがいい」と思っていました。でも、息子には話していませんでした。

最終的には本人が、友達や先輩から話を聞き、実際に春期講習に参加してグノーブルの授業を自分の目で確かめて決めました。私はもともとグノーブル推しだったので、当然ながら異論はありませんでした。

垣間見えてきたグノーブルの魅力

竹内: 語源にさかのぼって単語の成り立ちを学べたり、英文の背景など深いところまで丁寧に教えていただけるグノーブルの授業スタイルは、暗記を前提とした英語学習を行うよ

うな他とは一線を画しているんじゃないでしょうか。息子はいつもグノーブルの授業には本当に意欲的に取り組んでいました。

受験の枠にとらわれない幅広い知識や教養が得られ、視野を広げて人生を豊かにしてくれる学びがグノーブルにはあるのだと思います。すごく良い環境で息子は大学受験を経験できたのだと思っています。また、先生の存在がとても近く、情熱をもって教えてくださるので前向きに学習に取り組んでいました。

私が驚いたのはグノーブルで音読の習慣が身についたことです。朝と夜の2回、サボることなく続けていたのは尊敬に値すると思っていましたし、息子が楽しそうに音読している姿を見て応援していました。自分が好きなアメリカのスポーツチームや選手の記事を英語でスラスラ読みたいというのがモチベーションにつながっていたように思います。

息子にとっての音読は、受験勉強であるばかりでなく、自分の趣味を充実させるための手段だったともいえると思います。

川上: うちの息子もグノーブルに

正しく導いてくださるグノーブルの先生方を、息子は尊敬していました。だからこそ、コロナ禍でも挫けずに頑張ることができたと思っています。



かわかみ りょうこ
川上 涼子さま
東大理科一類1年(海城)
川上 健さんのお母さま



ささだ きよみ
笹田 清美さま
東大理科一類1年(開成)
笹田 陽太さんのお母さま



たけうち あきこ
竹内 彰子さま
東大文科二類1年(駒場東邦)
竹内 邦彰さんのお母さま

入った頃から、音読は毎日頑張っ続けていました。私もグノーブルで頑張っしてほしい気持ちが強かったので、初めのうちは「すごい! どんどん上手になってる!」と、かなり大きめに褒めていましたが、次第に本当に上達しなめらかな発音で読めるようになっていくのがわかりました。

息子は声大きいので、ドアを閉めていても声が聞こえます。そんな声を聞きながら、「継続は力なり」と身をもって感じました。

グノーブルに通い始めて一番の変化は、英語を日常生活の中に取り込んで、常に身近に感じていたいという姿勢がすっかり定着したことです。グノーブルの教材を毎日音読し続けて、どんどん発音もなめらかになりましたし、主人が途中でギブアップした分厚い原書を息子引き継いで、受験が終わるまでに読破してしまったということもありました。

グノーブルで学べたのは、英語を使って幅広い知識にアプローチできる楽しさでした。だからこそ、もっと英語を学びたいという前向きな姿勢が今も続いているのだと思います。

笹田: 息子は英語が大好きというわ

けではなく、計画を立ててコツコツと勉強するタイプではありませんでした。それでもある程度の成績はキープできていて、本人は「テストに強いタイプだ」と思っていたようです。

初めて息子が、「上辺だけの英語力ではだめだ」と気づけたのは高2の終わりでした。クラス分けテストの結果で息子の姿勢が変わりました。それ以降は、我が家に息子の音読の音が響き渡るようになり、徐々に成績も上がり、最上位のクラスに返り咲くことができました。

音読の効果に気づくことなく「もったいない時間を過ごしていた」とのちのち本人も言っていました。

継続的に積み重ねて力をつけた経験は大きな自信につながり、共通テストでも東大の入試本番でも十二分に力を発揮できたようです。また、東大進学後も、不安だった外国人教師による英語の授業にもすんなりと馴染んでいるそうです。グノーブルで築いていただいた「勉強に向かう心構えと、英語の土台」のおかげだと思っています。

受験期の子どもの関わり方

竹内: コロナ禍で、主人も昨年の3月からリモートで働いていました。父親が家にいる中で勉強するというのは、息子にとってかなりのストレスだったと思います。思春期の男子と父親ですので、なかなか難しいようにも見えましたが、息子のほうが空気を読んで、うまく過ごしていたようです。できるだけ距離を置くなどして、自分に集中していたように見えました。

先輩のお母さまにも、「母親にできることはあまりないよ」と言われていたのが、私はお茶と一緒にちょっとした甘いお菓子を添えて出したり、アロマを焚いて気分をリフレッシュできるようにサポートするくらいでした。

非常に大雑把な言い方になりますが、同じコロナ禍を生きるということは、少なからず不便や不自由を感じながら、皆同じ条件下で生活することになるわけです。その渦中では、親子共々、先が見えず不安に駆られることもあるでしょうが、一番近くにいる大人である親が、そのことに

ついて暗い顔をして嘆いたり、不満を口にしたりしてはいけないと思います。どのような状況であっても、目の前のことに淡々と向き合う親の姿勢を子どもに見せてあげるような関わり方が大切だと思います。

川上: 私も仕事がりモートになり、リビングで一緒にいることが多くなりました。コロナ禍でいろいろと大変でしたが、主人が海外赴任していたこともあり、男同士の衝突もなく、その点は良かったと思います。

ただ、大学生の娘もりモート授業がありますので、それぞれがリビングを譲り合い、臨機応変に空間を変え勉強や仕事をしていました。

私は、特別に「これ」といったサポートはしていません。むしろ、子どもの力を信じて、子どもがやりたいようにできる環境をつくることに注力していました。あまり細々したことは言わずに、息子の気持ちをしっかりと聞いて、それが実現できるように力を注ぎ、見守ることを心掛けていました。

日々の生活の中で子どもとの信頼関係を築くことが大事です。そこまで言葉を交わさなくても、親ならわかる部分があると思います。子どもの一挙手一投足ではありませんが、機嫌などはわかると思います。そのような気づきを大事にしなが、見守ることが大切だと思います。

笹田: コロナ禍で学校に行けなくなったのが昨年2月末です。その頃は運動会の準備で息子たちは活気に満ち溢れていました。4月の段階で運動会の延期が決まり、学校にも通うことができなくなりましたが、それでも高校生活最後の運動会に向けて全力を注ぎ込んでいるので、とても楽しそうに見えました。

ところが、結果的に運動会中止が決定。息子はしばらく部屋から出てこなくなり、食欲もなくなり、体重も3、4キロ減ってしまい、大学受験以前にメンタルのことが心配になったほどです。

ただ、息子は親の口出しを非常に嫌うタイプですのでそこには触れず、いろいろなハーブティーを用意して、ひと段落ついた頃合いを見計らって、おいしいものを添えて出すくらいが私にできる精一杯でした。

そういったコロナ禍の受験を通して改めて思ったことは、息子の遅さです。運動会が中止になった時や、グノーブルでクラスが下がった時に、息子はとても落ち込みました。その時々で私も心配していましたが、友達との会話など、何かをきっかけにして、自分の力で這い上がっていく強さを見せてもらいました。

グノーブルの先生からのアドバイスももらっていたことも言い添えておきたいと思います。添削物などへちょっとしたコメントがいただけることも息子には大きな励みになっていたようでした。

2020年の受験生たちは皆、日々の重苦しい空気に押しつぶされそうで、たまらない1年間だったと思います。息子は、そんな空気が嫌だからこそ、一刻も早くそこから逃れたい一心で、必死に勉強していたようです。今は大学生生活をとても楽しんでます。

グノーブルに託して良かった

笹田: 息子の受験期は、決して順風満帆だったわけではありません。その都度、グノーブルの先生が自分のことを見捨てずにいてくださったことを、本人はとても感謝しているようです。

運動会のことと落ち込んでいた時に先生から、「君はホップ、ステップ、ジャンプするタイプだから、今はドーンと落ち込んでいるのかもしれないけれど、落ち込んだらその分だけ飛び上がれるよ」というアドバイスをいただいたそうです。それを聞いた時、私は「グノーブルを選んで本当に良かった」と心から思いました。

グノーブルは「先生と生徒の距離

が近い」と言われますが、「近すぎない」ところが良いと思っています。塾によっては大学生の先生ばかりで、それが同じ高校の先輩である場合もあります。あまりにも距離が近すぎる塾は息子には向いていなかったと思います。

言うべきことはきちんと言い、正しく導いてくださるグノーブルの先生方を息子は尊敬していました。だからこそ、コロナ禍でも挫けずに頑張ることができたと思っています。

川上: グノーブルに入った当初から、授業中、かなりあてていただくのを息子は楽しんでいました。仮に答えられなかったとしても、そのタイミングで「頭を使って何かを言いたい」などと考えていたようです。

グノーブルは先生と生徒の距離が近くもあり、近すぎない関係で、すごく親しみを感じていたと思います。先生方は、「すごい情熱をもって教えてくれる」と息子はいつも言っていました。そして、その熱いパワーを毎回強く受けて帰ってきました。

授業には延長もありますが、毎回、満足感いっぱい表情で帰ってきたのが印象的でした。グノーブルに託して、英語を好きになって、本当に良かったです。

竹内: 受験学年になって授業が延長になっても集中が途切れることもなく、生徒の皆さんが心からグノーブルの授業を楽しんでいるらしいことは、うちの息子の様子からもよくわかりました。

先輩である10期生のお母さまも、「時間になったからと中途半端に授業を終わらせる塾より、延長してまで教えてくださるんだから素晴らしいこと」とおっしゃっていました。

私は保護者会に行っていないので、先生方に直接お会いする機会はありませんでしたが、息子は先生方をとても信頼していました。グノーブルには深いご縁を感じています。

東京大学 文系 Part 1



英語の学習に文法が大事なのは確かですが、文法や文構造に重きを置きすぎず、英文を英語のまま解釈していくグノの教え方に惹かれました。国語は面白さと勉強がちょうどいいバランスの授業なので、「この国語だったら学べるし、楽しんで続けられる」と思いました。

山崎 美羽さん (文I・渋谷教育学園渋谷)

グノーブルに入ったきっかけ

竹内: 僕は新高2になるタイミングでした。「学校で良い成績を取っていても、外に出るとどうなのかな？」という不安があって、僕も友人が多く通っていて評判の良いグノの春期講習に参加してみました。先生がフレンドリーかつ教室がアットホームで、僕はそういう雰囲気が好きだったので、「この塾なら2年間頑張っていける」と思って、入塾を決めました。

宮垣: もともと英語は得意で「安定した得点源にしたいな」と思って、英語の評判が良いグノにしました。授業の振替ができるという点でもグノに魅力を感じました。

英語の成績の伸び

高橋: 学校の実力テストでは、グノに通い始めた高2の1月は2百何十人中40番台でした。それからどんどん伸びて、20番台になって、1ケタに入って、最終的に2位になりました。以前はどちらかというと足を引っ張っていた英語が、得意科目になって得点源にもなりました。

音読の効果

山崎: 音読を習慣化したら、要約でも「ここがポイント、ここはサポート」と見抜けるようになってきました。サミングアップ*1のGSL*2を聞き込んで、文章を何十回も音読して覚えるくらいまで読み込むと、その英文を英作文でも応用して使えるようになりました。

高橋: 音読では返り読みができませんし、音読を続けていると、普通に英文を英語のまま解釈できるようになります。しかも授業の解説で語源などの成り立ちも聞いているので応用がききます。

独特な英語の授業

竹内: 教材も他塾だと大学受験の過去問が多いと思いますが、グノの場合は、ジャンルにとらわれず、幅広くいろいろな英文を先生が用意してくださいます。

高橋: 英作文は、宿題として100語という長めのものが毎週出されたり、授業で漫画のセリフを考えるものがあったりして、いろんなパターンに対応できる力が身につきました。

グノーブルの国語

山崎: グノでは、古文の世界観の面白さを生き生きと教えていただけました。「当時はこういうふう季節を感じ取っていたんだな」と、古文を楽しんで読めるようになりました。東大国語の授業では、いろいろな年の過去問を解いて添削していただきましたが、点数を取るコツなど戦略的なことも教えていただきました。

グノーブルの先生

宮垣: スランプに陥った時などはよくメールで相談させていただきました。自分が送ったものの2倍くらいの量の温かいメッセージと的確なアドバイスをいただき、精神的にも支えてもらいました。

後輩へのアドバイス

山崎: グノで勉強していれば、どの大学を受けるにしても力になってくれます。先生方の言うことを信じるのは大事です。

竹内: グノを信じて、充実した一日一日を過ごしていきましょう。そうすれば、東大だろうがどこの大学だろうが、グノでやったことは絶対に裏切りません。

*1 SUMMING-UP LABORATORY: 高3の英語(読解)で毎回実施される英文の要約演習。生徒一人ひとりの答案を担当講師が添削・採点して返却。音声教材も完備。知的にレベルの高い「読解力」の土台を築けるばかりではなく、「聴解力」「作文力」「話す力」や「プレゼン力」も鍛えるグノーブル独自の仕組みです。
*2 Gnoble Sound Laboratory: 中1から高3までの6学年すべてに毎週用意されているオリジナル英語音声教材。合理的練習法(ワークアウト)も確立されており、英語が得意なグノーブル生の土台を築いています。

東京大学 文系 Part 2



毎日音読をしました。音読を続けると、暗記ではなく、脳の奥に染み込むというか、英文が体に染みていく感じで、自分の脳が英語脳に近づいていきます。

染み込んでいる英文は、自由英作文の時にもすぐに応用できました。

杉崎 晃太さん (文Ⅰ・駒場東邦)

グノーブルに入ったきっかけ

今井：グノは生徒と先生のやりとりで授業が進むし、アットホームさがあって良かったです。また、グノの指導方針が学校の方針とかなり似ていて、音読・リスニング・多読を重視している点が「自分に合っている」というのも決め手でした。

英語の成績の伸び

山田：グノは、過去問よりも高度な内容の英文を扱っていましたが、演習してすぐに解説に入ります。「どうして間違えたのか」「どんな考え方をして答えを書いたのか」が新鮮な状態で解説を聞けるので、理解が深まり、自己分析にも役立ちました。グノには高3の夏休みから通い始めたのですが、他科目の遅れを補えるところまで英語を伸ばせたと思っています。

GSL^{*1}の効果

杉崎：音読を続けると、暗記ではなく、脳の奥に染み込むというか、英文が体に染みていく感じで、自分の脳が英語脳に近づいていきます。染み込んでいる英文は、自由英作文の時にもすぐに応用できます。他の英文の解釈にも役立ちます。内容がちょっと変わっても、同じような形をした英文は無限にあるからです。

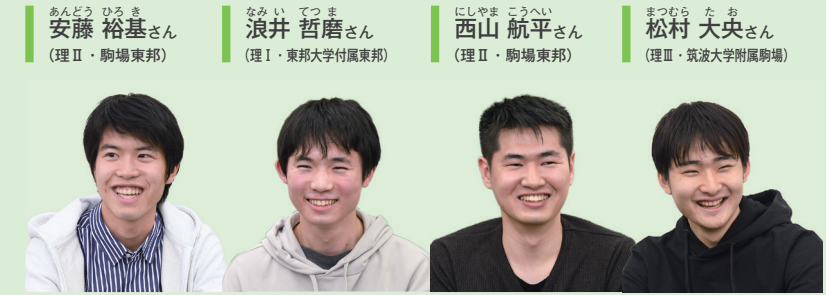
グノーブルの数学

鋒山：グノの数学では、「どういう動機で問題を解けばいいのか？」を日本語でわかりやすく説明していただけました。セルフチェックシート^{*2}は、解けた問題だったとしても、もう一度考えてみるきっかけになりました。「他に解き

*1 Gnoble Sound Laboratory：中1から高3までの6学年すべてに毎週用意されているオリジナル英語音声教材。合理的練習法（ワークアウト）も確立されており、英語が得意なグノーブル生の土台を築いています。

*2 セルフチェックシート：高2文系数学、高3数学で生徒自身が宿題終了後に記入するシート。解けた問題には「どう解いたか」、解けなかった問題には「何ができなかったか」などを記入。自分の傾向や理解度を分析して客観視し、次のステップへとつなげるグノーブル独自のツール。担当講師が目を通しコメントをつけて返却しています。

東京大学 理系 Part 1



グノの数学では、必要な解法を教わるのはもちろん、「どの解法をどう選んだら良いか？」「どうして解答例のような解法が一番いいのか？」を教えてもらえて、そこが良かったです。

セルフチェックシートを書くとき、同じところでつまづいた時に「またやったな」と気づけて、そこを確実に覚えられました。

浪井 哲磨さん (理Ⅰ・東邦大学付属東邦)

グノーブルに入ったきっかけ

松村：僕は高3の春から入塾しました。国語をちゃんと勉強したことがなく、古典がほぼわからない状態だったからです。古典を一からやるにあたって、すごくわかりやすく、また楽しく学ぶことができ、「これならやっていける」と思いました。

安藤：春期講習の英語を受けてみたら、学校では扱わない語源も説明してもらえてとても刺激的でした。

英語の成績の伸び

松村：英語力そのものを上げる、だから結果として得点力もつく、ということにグノでは重点を置いていて語彙は語源から、文法の仕組みも成り立ちから、トピックセンテンスやサポーティングセンテンスなど英文の読み方も基本から学べたので、英語を体系的に学び直すことができました。

グノーブルの英文教材

安藤：毎週先生が用意してくださる英文の内容は興味深いものばかりで、最新の社会情勢だったり、哲学や芸術、科学の話題だったり、受験にも役立つ脳科学にまつわる話なども扱いました。難度の高い英文もよくありましたが、背景知識を先生が生き生きと解説してくださったので、とても学びがいがありました。

グノーブルの数学

西山：セルフチェックシート^{*}は本当に役立ちました。弱点などに対し「自分はこういう認識を持ったほうがいいのか？」というのを書いて提出すると、先生がそれを認めてくれることもあれば、「それはやめたほうがいい」と返してくれることもあって、自分の思考を修正するきっかけになりました。

* セルフチェックシート：高2文系数学、高3数学で生徒自身が宿題終了後に記入するシート。解けた問題には「どう解いたか」、解けなかった問題には「何ができなかったか」などを記入。自分の傾向や理解度を分析して客観視し、次のステップへとつなげるグノーブル独自のツール。担当講師が目を通しコメントをつけて返却しています。

グノーブルの国語

松村：古文も漢文も記号にしか見えていなくて意味がさっぱりわからない状態だったので、入塾当初の演習はボロボロでした。でも、先生が現代文に置き換えて解説してくださると、「そういうことか！」と胸にストンと落ちました。わかりやすく楽しい先生の解説を聞いているうちに古典の世界にどんどん引き込まれ、原文のまま読めるようになってきて、「古典は面白い！」と思え、着実に成績も伸びました。

グノーブルの受付

浪井：受付で「お名前を教えてください」と聞かれて、名字だけ答えたら、「〇〇君ですね」とフルネームを言ってくださって、「すごい」と感じたことがありました。

後輩へのアドバイス

安藤：僕は音読を勧めます。僕たちは日本語を喋っているのだから、英語は意識的に体になじませる必要があります。その有効なやり方がグノの音読です。

浪井：グノの先生は生徒一人ひとりに対して丁寧に相談に乗ってくれるし、添削もしてくれるし、質問もできます。だから、甘えられるところは先生を頼っていいと思います。その上で、先生の言ったことを思い出しながら、復習を大事にしてください。

西山：僕が成績を伸ばせたのは、グノでの演習と復習を中心にした勉強でした。周りが「過去問を早くやったほうがいい」と言っているけど、グノの勉強を最後まで堅実に継続することが大事です。

東京大学 理系 Part 2



グノというと「英語の塾」のイメージがありますが、私は「数学もすごい」と言いたいです。少人数で、「最低限の問題を押さえればあとは応用できる」というのが、授業と宿題からも実感できて順調に成績を伸ばせました。先生の解説もわかりやすく、質問もしやすく、楽しく学べました。

小谷 梨歌さん (理 I・豊島岡女子学園)

グノーブルに入ったきっかけ

川上: きっかけは姉です。姉は高3の1年間グノの英語に通っていて、第一志望に合格しましたが、「英語で受かったようなもの。一番役に立ったのは最後のグノだった」と言っていました。その言葉は信用できると思いました。

グノーブルの英文教材

小谷: グノの英語の教材は読み物として自分の糧になるものが多いのが特徴です。先生が英文の背景的な知識をエピソードも交えて話してくださって、英文の理解が深まっただけでなく、自分の成長にもつながりました。専門的な内容の文章を英語で読むと、日本語で読むよりもワクワクして読めることにも気がつきました。

単語帳では培にくい語彙力

大場: 受験勉強としてグノ以外の英語教材をやったことがありません。音読しながら単語も覚えていき、模試で「身につけているな」と実感できた時は、「単語帳はやってないのに！」と自信につながりました。生き生きと英単語を身につけていく上で英語と日本語の対応表を暗記するやり方が効果的でないのは、授業でも先生がよく話してくださいました。「ほぼすべての英単語と日本語は意味の概念がずれている」とおっしゃっていて、今では本当にそのとおりでと思っています。

グノーブルの数学

小谷: 「最低限の問題を押さえればあとは応用できる」というのが、授業と宿題からも実感できて、順調に成績を伸ばせました。少人数で、解説もわかりやすく、質問もしやすく、楽しく数学を学べました。

グノーブルの物理

小谷: グノーブルの物理では、一つひとつの定義ができあがった歴史的経緯から先生の話が始まります。実際に解いてみて「このやり方はちょっと矛盾が生じるね」というのを見せてくださるので、物理自体に対する興味がどんどん引き出されていきました。

グノーブルの先生

大場: とにかく個性的な先生方が、「君たちに本当の英語の力を授けてあげよう」と熱意を持って授業をしてくださるので、グノの授業では退屈することがありませんでした。
Y.Y.: 僕は5年間習いましたが、どの先生にも言えるのは、距離が近かったことです。グノ全体に共通した方針や授業の形式はありましたが、それぞれの先生が独特の個性と雰囲気を持っていて魅力的でした。

後輩へのアドバイス

大場: 不安になって自己流で勝手なことをするよりも、まずは先生に言われたことを自分が完璧にこなせているかを振り返ることが重要です。

川上: アドバイスはふたつあります。ひとつは、目標に対する勉強の進め方を一貫して保つことが大切です。もうひとつは、グノの授業にエネルギーをつぎ込んでほしいということです。「授業時間内に絶対に理解する」という姿勢は早いうちから守っておいたほうがいいです。

小谷: 受験勉強を長い間やっていると「この塾で大丈夫か?」「この勉強法で大丈夫か?」と思うこともあると思います。でも、グノは本当に信頼できる塾です。グノで素直に学ぶのが合格への近道だと思います。

Y.Y.: グノの勉強についていき復習をすれば、東大合格に十分な英語力が身につきます。

東京大学 理系 Part 3



学校行事で塾に行けない時、振替ができるところがありがたかったです。振替で先生がいつもと違うことがあっても、授業はいつもと同じで質が高いままなので、その点が良かったです。

笹田 陽太さん (理 I・開成)

グノーブルに入ったきっかけ

金井: その場でプリントが配られて、演習したらすぐに解説を受けられる形式が自分に合っていました。文法も「覚えておこう」ではなくて、英語の特徴から説明してもらえたので、とてもわかりやすかったです。

音読の効果

笹田: 音読は知識が定着しやすく、一番手取り早い復習方法でした。ひとつの英文を読むのは3分くらいしかかかりませんが、それを3、4回繰り返すと、知識面についてはほとんど身につけることができました。

江口: 英語の感覚を鍛えたり、維持したりするのに、音読はとても効果的でした。英文を日本語に訳していく復習方法とは全然効果が違ったと思います。何日が音読しない日が続くと、「スラスラ読めないな」と思うことがあって、音読を継続することの大切さを実感していました。

グノーブルの英文教材

笹田: 一番良かったのは、教材がテスト対策っぽい感じではなくて、英語力そのものを身につけるためのものだったことです。

江口: 授業中に配布されるプリントは難しくて、演習をしている時にはボンヤリとしか読めないこともありました。でも、先生の解説を聞いて、復習や音読を重ねることで、「これはこういうことか!」と納得できる瞬間が訪れるので、その感覚が楽しかったです。

グノーブルの英語

金井: 僕はそんなに英語が得意ではありませんでしたが、グノに通っているうちに「英語ができる」という自信ができましたし、自然とテストの点数も上がっていきました。

先生と生徒がやりとりしながら進んでいくのがグノの授業の特長ですが、自分には理解できなかった英文をさらっと解釈できている人がいたり、「こんなことも知っているんだ」と思える人の発言には、毎回「すごいな」と思って刺激を受けていました。

グノーブルの先生

笹田: 授業への熱意と生徒への気の配り方がすごかったです。先生方の熱意が自分の勉強への熱意にも火をつけてくれたと思っています。

金井: 先生方は本当に知識が豊富なので、自分には気づけない点への指摘もたくさんいただきました。そんな先生方の姿を見て、「自分もその域に達したい」と憧れました。

江口: 先生は、質問だけでなく、ちょっとした雑談にも付き合ってくださって、僕たちのことを知ろうとしてくださるのがとてもうれしかったです。先生への強い信頼感が生まれました。

後輩へのアドバイス

笹田: まずはグノの授業を集中して受けること。それから授業後には毎日、1日20分くらい音読することを継続してください。

金井: グノの授業は1回完結型です。その分延長はありませんが、復習しやすくなるという大きなメリットがあります。「授業に出席して演習、解説を聞いて理解、その後復習」というサイクルをうまく繰り返しましょう。それで問題なく東大に受かるだけの力がつくと思います。

江口: 困ったことがあったら、先生に相談して理解できていないところは質問しましょう。メールでも対応していたので、先生を信じて頼ることが大切です。

国立大学 医学部

あらた たかき
荒田 峻希さん
(北海道大・駒場東邦)



いのうえ たくみ
井上 拓海さん
(東京医科歯科大・駒場東邦)



さとう かずま
佐藤 一舞さん
(東北大・世田谷学園)



英語はグノから毎回良質な教材が提供されるので、その復習をすれば十分です。数学もグノを信じて絶対大丈夫です。典型的なパターンを通して受験の数学が体系化されるので、とにかくその教材を復習すれば相当な力が身につきます。英語にしても数学にしても、グノでは復習がとても大切です。

佐藤 一舞さん (東北大・世田谷学園)

グノーブルに入ったきっかけ

佐藤：グノに通っている人の英語力が伸びているのを見ていたので、「ここなら自分も伸びる」と確信しました。

英語の成績の伸び

荒田：もともと英語は得意でしたが、グノに入ってさらに伸ばせました。伸ばせた理由のひとつは、グノで触れる英文の種類が豊富だということです。高3の授業では1回の授業で3つ、4つくらいの英文に触れられます。学校の場合、1回の定期テストまでで、多くても3つの英文しか扱わないのと比べると格段の差です。

佐藤：英語は比較的得意でしたが、毎週あの量を読むのは学校では難しいと思います。グノのおかげで長文に対する耐性がつき、中学の頃から英語が得点源でした。大学受験が近づいてきた時は、勉強への集中力も上がっていたので、さらに英語力が伸びていると感じていました。

グノーブルの英語

井上：グノに入ったのは英語の成績を上げたかったからでしたが、「今日はどんな新しいことを学べるのかな？」というのが楽しみで通うようになっていきました。入塾する前は、英語の勉強のために単語帳を使うのは当然だと思っていました。グノに入ってから、その常識が覆り、大学受験を終えるまで単語帳には時間もエネルギーも使わずにすみました。

荒田：グノの授業では、受験に必要な知識だから暗記しなさいと言われることは一切ありません。例えば単語帳の暗記もありません。グノは新出の英単語があると、すべて語源から解説してくれます。そういう解説は聞いているだけでも興味深いし、面白いと思えるものは覚えやすくなります。

グノーブルの数学

佐藤：先生が手書きでまとめてくださる解説や解法のプリントがとても見やすく、「グノのプリントじゃないとわからない」くらいの気持ちになりました。受験に出る数学のパターンもそのプリントにほとんど網羅されていたので、それが軸になって僕の中に数学が体系化されたと思っています。

後輩へのアドバイス

荒田：難関大学を目指す人たちは、受験期に入る時には英語の力が完成に近い人も多はずです。そういう人が「英語の力を維持したい」とか、「さらに英語の力を伸ばしたい」と思うならグノが最適です。グノで英語力を培ってきた人は、英語はグノに絞って、別の教材をやる時間を他の科目に充てたほうが良いと思います。

井上：英語に関しては、グノの授業をしっかり理解した上で、ノートを見直して必要な知識を身につけ、音読を1年間ずっと続けていけば、本当に十分な力がつきます。単語帳にも他の問題集にも手を出す必要はありません。徹底的にグノのことだけをやり続けてください。

佐藤：グノから毎回良質な教材が提供されるので、その復習をすれば英語は十分です。数学もグノを信じて絶対大丈夫です。典型的なパターンを通して受験の数学が体系化されるので、とにかくその教材を復習すれば相当な力が身につきます。

15期生 合格者の声

Digest

- 大学受験の勉強をただじゃつまらないなら、Gnobleに行こう！
(京都(総合人間)/筑附)
- 他の塾では教えて貰えない勉強の取り組み方、問題の考え方を教えて貰え、この先生について行けば大丈夫だと思う先生に出会える塾！
(筑波(医)/豊島)
- 通っていて良かったと心から思える塾です！
(東京医科(医)/東洋英和)
- 受験勉強の概念が変わる塾！毎回の生き生きした授業で好奇心が芽生え、楽しく学ぶことが結果に繋がります!!
(慶應(文)/白百合)
- 決して受け身の授業にならない、先生とのレスポンスが取れる塾！授業があつという間だと思えるほど内容の濃い授業が受けられる塾！
(北里(薬)/東洋英和)
- 他とは比べ物にならないくらい勉強の楽しさを丁寧に教えてくれる塾でした。授業が充実していて、毎回毎回学べるのが山ほどあって、帰り道はいつも幸せな気分でした。
(慶應(商)/学習院女子)
- 英語を楽しく学べて、実力を伸ばすことのできる、最高の塾です！
(群馬(医)/鷗友)
- 先生が一人ひとりをしっかりと見つめてくれて実力が伸びる素晴らしい環境の塾です！
(筑波(医)/早実)
- 母に「日本一の英語の塾があるよ!」と勧められて入塾しました。結果的には英語はもちろん、国語もすごく良かったです。大学生になっても通い続けたいぐらいです!
(慶應(商)/晃華)
- Gnobleは集団塾ながら、生徒一人ひとりにちゃんと寄り添ってくれます!
(慶應(法)/桐朋)
- 自分から学習に集中しようという気にさせてくれ、そして温かく包み込んでくれるような塾!
(上智(外国語)/聖ヨゼフ)
- 英語が好きになれる塾!通塾するのを楽しみに思える塾!!
(上智(文)/カリタス女子)
- 先生との距離が近い。本当の英語力を高めることができる。人として素晴らしい先生しかいない。(藤田医科(医)/白百合)
- 「英語を最強の武器にできる塾」です。
(聖マリアンナ医科(医)/聖心女子)
- 情熱的な先生が多く、少人数なので先生が生徒一人ひとりを把握してくれている塾。宿題は少ないのに、どんどん実力がつき、語源からのアプローチをはじめ、英語に対する見方も変えてくれる。
(東大(理II)/駒東)
- 出会えて良かった塾。
(東大(文III)/桜蔭)
- 密度の高い、対面ならではの良さが詰まった授業が約束されている。生活に英語を組み込むきっかけを与えてくれる一貫した方針が示されて、やりがいがあり楽しめる教材が提供される。
(東大(理I)/海城)
- 教材も解説も素晴らしい!新たな発見にあふれた塾!!
(東大(理I)/東邦大東邦)
- 自分は幸せな受験生活を送れているな、と思える塾!→学ぶことの楽しさ、いろいろな科目の勉強が有機的に結びつく楽しさを存分に味わえる塾だと思います。(慶應(法)/鷗友)
- 受付の方の丁寧さと、授業の充実ぶりは他塾よりも格段に高いと思っています!
(上智(総合人間科学)/東大附属)
- 生徒一人ひとりに全力で向き合ってくれる塾。グノは英語で有名ですが、国語も良いということをアピールしたいです!
(東大(文II)/雙葉)
- 大学受験はもちろん、受験の先まで見据えた学習を安心してすることができる塾。
(東大(理II)/開成)
- 勉強と本気で向き合える塾。
(東大(理II)/海城)
- “英語”を読む・書く・聞くが本当にできるようになる塾。
(東北(医)/駒東)
- 大学受験のその先にも通用する英語力を自然と身につけられる唯一無二の塾。
(一橋(経済)/海城)
- 受験で役立つのはもちろん、受験勉強を超えてより深い知識・知恵を得られる塾。
(京都(法)/大妻)
- 英語の本質を学べて、英語そのものを楽しめる塾。
(都立大(健康福祉)/戸山)
- 素晴らしい塾です!あと、帰国生が英語を学ぶのに本当に適していると思います。
(慶應(法)/白百合)
- とにかく楽しい授業!様々なテーマの英文を解説していただけるので、飽きないし教養もつきます。自信を持って得意だ!と言えるレベルまで持っていくことができます。
(東大(理II)/学附)
- 同じ「英語で書かれた文章が読める」という言葉でも、グノの英語の先生方が導いてくださったそれはずっと高いレベルの「読める」だったと思います。
(東外大(国際社会)/頌栄)
- その名の通り、「知の力」が得られる塾!
(東京医科歯科(医)/開成)
- 騙されたと思ってなるべく早く一度体験するべきです。Gnobleの英語は素晴らしいです。
(東大(文I)/本郷)

受験を超えて、ゆく

グノーブルは、受験に合格することだけを目的とした塾ではありません。

グノーブルで積み重ねていく「知の力」は、
どんな時代にも変わらない価値があると信じています。

グノーブルで学ぶ日々が、受験を終えても、みなさんの人生のどこかで支えになれるように。

そのために、わたしたちは日々、みなさん一人ひとりの顔を思い浮かべながら、
新鮮な教材を選び、集中できる環境を整え、真摯に向き合い続けていくことをお約束します。

受験の先を見据えた「グノーブルの学び」を、ぜひ体感してください。

大学受験



Gnoble

大学受験 グノーブル

難関大学・医学部を目指す中1生～大学受験生

本物の知的体力がますます求められています。その知の力を伸ばすのに最も大切な要件は、前向きになれる、知的刺激にあふれた環境で学ぶことです。授業形式、教材、そして、教職員の接し方に至るまで、皆さんが意欲的になれる環境を整備し、難関大学・学部を目指す皆さんをしっかりサポートしていきます。

中学受験



Gnoble

中学受験 グノーブル

難関中学を目指す小学生

最新の入試傾向に対応したカリキュラム、精選されたオリジナルテキストを基に、経験豊かな講師陣が一人ひとりに向き合った双方向の授業を展開し、難関中を目指す子どもたちを導いていきます。学習したい教科や志望校別のクラスが選択できるなど、中学受験に関するさまざまなご要望にお応えしていきます。

個別指導



GnoLink

個別指導 グノリンク

難関校を目指す小学生～大学受験生

生徒一人ひとりに心を配り、その子の持つ可能性を追求します。学習状況に合わせて、講師1名に生徒2名、あるいは生徒1名の完全個人指導体制を提供します。中学受験・大学受験グノーブルと並行して通うことも可能です。グノーブルオリジナルテキスト等も併用しながら、個別に対応します。

英会話



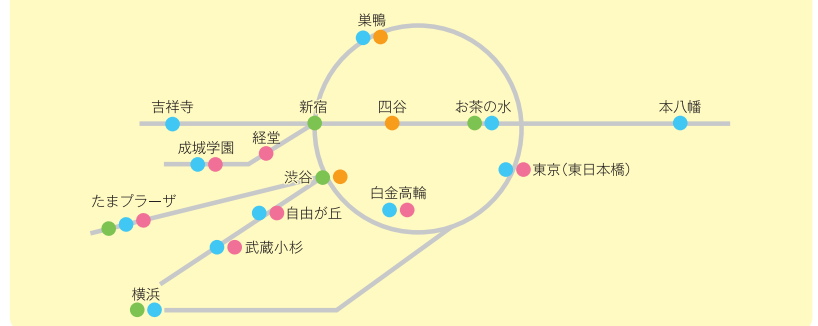
GnoKids

英会話 グノキッズ

0歳児～小学生

さまざまな楽しい英語体験を通して、聞く、話す、読む、書くの4つの力を伸ばします。先生2名に生徒は8名程のクラスで、ネイティブの英語に触れ、親しむことができます。ご家庭での学習も配慮した教材で、継続的な学習を無理なく行うことができます。

Gnoble グループ 各校舎所在地



Gnoble

GROUP

大学受験 **グノーブル**
個別指導 **グノリンク**

中学受験 **グノーブル**
英会話 **グノキッズ**

グノーブル総合案内

www.gnoble.com